

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびりすぽと（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月3日 ～ 令和6年12月16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和6年 11月16日 ～ 令和6年11月22日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数制なので個別支援、又は小集団活動など利用児童に合わせた支援をおこなっている。	半年に1度、児童の評価を基に保護者と交えての面談を行い、支援内容を確認している。また、週に1回のミーティングを行い支援内容の確認を職員間でを行い、共通の支援ができるように取り組んでいる。	ご自宅や園での様子、評価結果を基に支援の見直しを、保護者面談以外でも定期的におこなっていく。
2	支援の様子や、日頃の様子などの情報を発信、ご家庭での困りごとに対して行動分析を行っている。	ブログを週に1度更新し、1週間の子どもの様子を配信している。行動分析的な関わり方の提案を行ったり、家族支援も行えるように、行動分析の研修を受けている。	こどもたちの変化や様子などを、保護者の方に伝え、家庭での困りごとに対して助言をおこなえるよう研修を重ねていく。
3	アレルギー対応やヒヤリハットの情報共有、KYT訓練など安全面に配慮した研修を行っている。	面談の際に、アレルギーの確認を行い、職員に共有している。また、事故とヒヤリハットの集計を毎月出し、各部署間での情報共有をしている。その他にも、毎月のエビベン訓練やAED訓練を行い、どの職員も対応できるようにしている。避難訓練も実施している。	事故に繋がらないように、それぞれの職員がヒヤリハットの意識を持って、子どもと関わる。また、現在行っている訓練を継続して取り組んで行く。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士、きょうだい同士で交流する機会が少ない。	コロナ等で、色々なイベントの開催が難しかった。	今後は家族との交流の場になるイベントを開催を検討していく。
2	地域交流が少ない。	地域の行事に参加するための準備(保護者や児童への意思確認等)ができていなかった。	地域の行事に参加し、児童にとって色々な経験をすることで、地域交流に関心を持ってもらえるよう取り組む。屋外療育の際はプライバシー保護を重視しながら進めていく。
3	地域にセンターがないため、第三者の立場の方から意見を聴く機会が少ない。	離島ということもあり、センターがなく専門的な知識を持った職員と対面で交流する機会が設けにくい。	様々な職種の職員を配置し、子どもの様子を把握できるようにし、センターの役割を担うような働きかけを行っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		はびりすぽと 児童発達支援					公表日		令和7年 2月 12日			
							利用児童数		令和7年 2月 8日		回収数 13	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				見学の時に十分すぎる広さだと思いました。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1	十分です。	法廷で定められた職員数で対応していますが、今後は増員をしてより手厚い支援の提供ができればと考えています。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			1	バリアフリーを意識はあまりしてなかったですが、見学時、段差などはあまり感じなかった。	児童発達支援、放課後等デイサービスで学習室を分け、わかりやすく構造化しています。はびりすはバリアフリー構造です。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				とても清潔感があり、外の光も良く入って明るい空間でした。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				こどもをよく観察して、理解いただいていると思います。					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			1	毎回しっかりしていると思います。	HPやブログに載せているプログラムを基に、個々に合った支援を行っています。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13				自分が優先的にしていただきたいことをしっかり取り入れて、計画を作成していただきました。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1	そう思います。	児童発達支援のガイドラインに沿って個別支援計画を作成しています。個別支援計画の振り返りと共に保護者からの意向を確認し、目標や支援内容を設定しています。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				しっかりされていると思います。					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1		1	外での活動もされているなどは分かりませんが、連絡帳の内容だけでは詳しくわかりません。	季節のイベントやレクリエーションなどを行い、ブログで紹介しています。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13				幼稚園、のびのびでの活動、幼稚園外での園児・保護者とのイベント交流。					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12				ありました。					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				していただきました。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12		1		今のところ特にはないと思います。	保護者や園・学校関係者の方達を対象とした行動分析研修会など行っています。				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13									
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1		今のところ面談等ないです。	面談は通所開始から半年ごとにおこなっています。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				とても思います。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	2	2	特にはないです。兄弟なしです。	保護者参加の行事を予定しております。				
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12		1		まだ連絡帳等で、新たな相談事をしていません。	保護者の方やお子様からの相談や申し入れに対して、電話、またはofficialLINE等で迅速に対応できるよう心がけております。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				連絡帳や口頭で「今日は何をして、どんなことを話した」など教えてください。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				すごくよくされています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13				しっかり説明されていました。訓練もよく実施されています。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13				されているようです。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13				子どもの人数に対して、スタッフの人数を見ると安心できます。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	まだ経験はないがあった場合は連絡等速やかにしてくれると思います。	事故や怪我等があれば必ず保護者の方へ連絡し、発生した状況等の説明をおこなっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				安心できる職員が退職した時は休んだ。そう思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13				しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				いつも送迎してもらい、スタッフも優しく接してくれていると思います。いつもありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					令和7年 2月 12日
はびりすべと 児童発達支援							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	リハ室が狭いと感じる。	遊具の設置方法などを工夫して、広く使用できるようにしたいと思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		外部調査は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラム改善、変更などは週一回話し合いをするようにしている。	公表をしております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	どのタイミングで設定をしているのかわからない。	ガイドラインについては、契約時に説明紹介をし、ホームページ内にPDFを添付しています。半年に1回の面談後に、具体的な支援方法を設定しています。新人教育の際に、周知していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		朝礼や昼礼後にその日の流れなど確認し、必要に応じて打ち合わせを行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	できている時とできていない時がある。	送迎後など、リーダーを中心に支援内容のフィードバックを行うなど、必要に応じて対応している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	わかりません。	協力医療機関は沖永良部徳洲会病院、社会福祉協議会や保育園・学校と連携して支援を行う体制を整えている。職員教育の際に周知していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	4	センターなし。	県の療育センターが研修を実施していたが、現在は行われていないので、開催される際は参加したい。また、分校に配置されているコーディネーターの先生に相談して対応していく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	ほぼ全員園に通っている。	普段の生活の中での並行通園なので、交流している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	どのタイミングで説明をしているのかわからない。	運営規定、支援プログラム、利用者負担等の説明は契約時に必ず行っている。引き続き、保護者が理解できるように説明を行う。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	行っていない。	保護者がオープンに参加できる機会を検討中。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	行なえていなかった。	限られた地域住民の方（民生委員）に訪問していただいている。地域の方々の参観等を受け入れていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			